

(大岡敏孝衆議院議員挨拶)

皆さんおはようございます。

只今ご紹介頂きました滋賀1区・大津市、高島市から選出させて頂いております衆議院議員・大岡敏孝でございます。

日頃は皆様のお支えのお蔭で国におきまして様々な政治活動、政策活動にあたらせて頂いておりますこと高段からではございますが、改めて皆様にお礼を申し上げます。皆様本当にいつもありがとうございます。

さて、これまで1区におきましてずっとお支え頂いてきた方、何名かの方をこの1年間も亡くしてしまいました。まず先週には、大津市議会議長をお務め頂きました金井長純先生が他界をされました。そして、その前には衆議院、大津市長をお務め頂きました目片信先生、滋賀県議会議長をお務め頂きました三宅忠義先生はじめ、これまで党を支えてくださった多くの方々が他界をされました。

そうした皆様の気持ちもしっかりと受け継いで、これからも政治活動、政策活動にあたっていくことをまず皆様の前でお誓いをしたいと思います。

まず皆様にお詫びしなければなりませんのは、先日、自衛隊におきまして迫撃砲を基地の外に打ってしまうという事件が発生いたしました。

先ほど小椋市長から叱られた中の1つが、特にこの国の守りを万全にするとありましたけれども、この国の守りを万全にする以前の問題として、この防衛組織が国民から信頼をされていなければなりません。

その点で、今回4回目の事故ということでやはり自衛隊全体の気が緩んでいるのではないか。私たちが十分にこの自衛隊の活動をチェックしきれていないのではないか。様々な反省点を元に、この善後策、対応策をしっかりとまとめあげ、地域にご説明をし、もう一度、県内の皆様から自衛隊に対する信頼を取り戻すためのチャンスを頂きたいと思えます。

特に、滋賀県内の基地は全て私の選挙区でございます。

ここは責任を持って、私が最前線に立って、進めていくことお誓い申し上げます。

防災についてのお叱りも頂きました。皆様のご支援のお蔭で、また県、関係市町村のお力添えのお蔭で長年の課題でありました大戸川ダムがも

う一度再整備に向けて動き出すことになりました。

昨日の熱海をはじめとする様々な土砂災害、実際に大津におきましても2ヶ所の土砂災害の確認をしております。

こうした災害はいつあってもおかしくありません。

当然、県民の命そして滋賀県のみならず、京都、大阪下流民の命を守るためには必要なものは必要。

ダムに全て依存するわけではないけれども、必要なダムは必要だとこれから私たちはしっかりと説明していかなければならないと思います。かつて私たちの説明が足りなかったのか、県民が違う判断をしてしまうと、今回の事例でいきますと10年から20年必要な整備が遅れてしまうことを私たちも学びました。

これから様々な政策につきまして、十分な説明を果たして県民の皆様、民主主義である以上、当然ですけれども、県民の皆様によりしっかりとご理解頂けるように私たち国会議員も国がやるべきことはしっかりと説明してまいりたいと考えております。

この先、様々なインフラ整備も予定をしております。

道路につきましても161号線、現在最大の難所だと言われておりました鎧岩のトンネルがおかげさまでなんの事故もなく開通させることができました。

速やかに路盤を貼りまして、161号線、今は渋滞だらけの161号線ですが、これからは皆様の暮らしを守り、産業を守り、そして命を守る道としてしっかりと生きていくように全力で整備を進めてまいります。

また1号線につきましても新バイパス、これから調査費を計上していくつかの路線を皆様にお示しをして、いくつかの可能性をお示しして、その上でしっかりとまずは路線を決め、この1号線の渋滞を解消することにも全力を尽してまいりたいと考えております。

そしてコロナにつきましても、多くの皆様からご心配をいただいております。

先ほどもご説明がありましたけれども9月末までには1億1千万人分の数量は確保できております。

若干、ファイザーとモデルナの数のバランスの問題で、職域、地域において混乱しておりますが、9月末までには1億1千万人分は確保できて

おりますので、しっかりと皆様に安心して落ち着いて対応して頂けるように進めてまいりたいと考えております。

それからコロナ後に、特に今は飲食、宿泊、旅行、様々な分野の皆様が大きなダメージを受けておられます。

恐らくコロナが終わった後も「戻るもの」と「戻らないもの」がある。「戻るもの」と「変わるもの」がある。ここをしっかりと見据えてこれから皆様の事業、生業が正しく再生していくよう私たちもバックアップしてまいります。現在も事業再構築補助金などを使って新しい事業にチャレンジしておられる事業者の方もたくさんおられます。

そうした新しいチャレンジ、未来を先取りしたチャレンジをしっかりと先取りしていけるように、これからの地域政策、産業政策にあたってまいりますと考えております。

これからまだまだ滋賀県の中でやらなければならないことが沢山あります。

国、県、市、そして各地域がしっかりと連携して、皆様の期待に応えられる国政をできるように、国政から皆様の期待にしっかりと応えていけるように全力を尽すこととお誓い申し上げまして、私からの活動報告のご挨拶とさせていただきます。

引き続き皆様のご意見を賜り、そしてご指導を賜り、ご支援を賜りますことお願い申し上げまして私からのご挨拶にかえさせていただきます。本日はよろしくお願ひ申し上げます。